



No.545

治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館
 電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462

E-mail
 chian@bz03.plala.or.jp
 頒価 50円

総選挙で勝利し国民連合政権を 要求実現へ2万の同盟と署名の躍進

増本会長は、参院選挙で自民・公明などの改憲勢力の企みを阻止し、「改憲発議要件である3分の2割れ」を実現する一翼を担うことができた」と指摘しました。

しかし、安倍首相は憲法改悪の野望を捨てていません。「市民と野党の共同」をさらに発展・強化して、次の総選挙ですべての一人区で野党共同の統一候補者の勝利と比例区の大躍進によって「国民連合政権」の実現に貢献する努力



同盟の10月中央常任理事会が10月10日、東京都内の全労連会館で開かれました。第39回全国大会後初めての常任理事会では、増本一彦中央本部会長のあいさつ、田中幹夫事務局長の報告と提案、榎本よう子事務局次長の財政報告を受けて18人が発言。2万人の会員、国会請願署名活動の飛躍的前進を勝ち取ることを意思統一しました。

を一段と強めることが求められていると強調しました。

2020年代は「市民と野党の共同」による「国民連合政権」実現を目指す「時代」。同盟も「治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償の実現」の要求を高く掲げて奮闘するよう呼びかけました。

10月中央常任理事会開く

治安維持法体制がつけられ、国民民主権の確立を目指す人民のたたかいと抵抗が開始されて1世紀を迎えます。この年代の早い時期に数万の同盟に発展させること。

(2ページにつづく)

主な記事

- 10月中央常任委員会開く 1
- 私も一言／佐々木弾・東京大学社会科学研究所教授 3
- 各ブロック交流会、県本部大会・総会開く 4
- 抵抗の群像／兵庫県・船員の権利を守った田中松次郎 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

(1ページからのつづき)

早期の2万人の会員拡大と国会請願署名の自主目標達成に全力をあげようと訴えました。

第30回全国女性交流集会の成功は、女性会員の拡大と女性部の確立で決定的に重要です。今年こそ、すべての都道府県本部から参加できるように、常任理事のみなさんのご協力をお願いします。



田中幹夫事務局長は、中央常任理事会の任務は、情勢の特徴

と任務をつかみ、第39回大会決定の「さらに行動する同盟」に向けて2万人を一日も早く建設することだと強調、つぎのように提案。

9条改憲NO! 3000万署名と国会請願署名を握って離さない運動が前進している県・支部の教訓をしっかりと学び全国に普及しましょう。

総選挙の勝利の方程式は、市民と野党の本気の共同です。野党連合政権は、国民に向かって何を実行するのか。同時に野党間の不一致点をあいまいにしないことです。

政党と市民団体を含めた政策的合意をはかることが大切です。同盟の要求を実現するためにはポツダム宣言にもとづく終戦処理をする新政権樹立が必要です。そのためには小選挙区での勝利が不可欠です。力を尽くしましょう。

国会請願署名は10月1日現在で2万1277筆(37県、到達率6%)だとして、各県支部が自主目標達成に挑戦しよう。紹介議員は113人で、新参院議員などに訴えれば130人になる可能性があります。要請行動を強めよう。

ブロック交流会は、近畿、関東、中国、四国、北信越、東北、北海道の7ブロックで開催、437人が参加しました。これから開く東海、九州沖縄ブロックも成功させましょう。

会員拡大では、大会後の差し引き43人増の1万6440人。県本部、支部が女性会員を計画的に拡大することが重要です。支部建設こそ同盟活動の原動力です。会員の要求と結んで活動を進めましょう。『抵抗の群像』、DVD「種まく人びと」、『50年の歩み』、

『治安維持法と現代』を使つての学習会を重視するよう訴えました。

困難県には、中央本部と各ブロックで援助をつよめること、第30回全国女性交流集会での全県参加、会費納入の定期化も強調しました。

常任理事会での発言

会議では、「さらに行動する同盟へ」積極的な経験交流となりました。

◎奈良・田辺実、治安維持法で被害にあつたアジア諸国、朝鮮・満州などの調査・研究・顕彰し同盟が推進を。◎東京・後藤太刀味、全国の犠牲者調査活動の推進を。

◎岡山・福井正樹、中国ブロック交流会、内容が好評で初めて参加した人が署名活動、会員拡大に奮闘。◎大阪・塩田一行、大阪「治安維持法犠牲者名簿」作成。映画「伊藤千代子の生涯」の製作を成功させる実行委員会に100人参加。

◎秋田・最上健造、東北ブロック交流会の特徴と教訓と努力点、123人中初参加24人、県代表発言をやめ、参加者が学習し確信をもてるように、初参加者が発言

(3ページにつづく)



消費税が10%に引き上げられて1カ月

あまり。「年金は減り、消費税が上がって病院行きを減らすしかない」

「食費を切り詰めて支出を減らします」と増税が庶民の暮らしを直撃しています▼打撃を受けているのは小売店も同じ。政府はポイント還元で小売店の売り上げ影響を少なくしたいといいますが、還元できるレジが有効なのは9カ月間。クレジットカード会社との契約手数料もバカにはなりません▼しかも「買う商品」「買う店」「現金かキャッシュレスか」で、税率が5種類あり不公平を助長。大変な人への影響を考えてではなく、ど

さくさに紛れてキャッシュレス化を進める魂胆が見え見え。安倍政治を止めさせさせるしかありません▼つぎの総選挙で、野党統一候補の勝利による「国民連合政権」の樹立で、共産党と「れいわ新選組」、社民党との党首会談で、安倍政権打倒、政権交代で協議が進行。それに貢献する努力と強化が国賠同盟に期待されています。(鶴)

(2ページからのつづき)

できるだけように挙手で行いました。

◎兵庫・岡正信、「さらに行動する同盟」と組織建設、情勢と同盟の役割、大会後の同盟建設。◎滋賀・西田清、同盟運動の基本をおさえ、支部強化を力に。同盟運動の基本に署名活動を位置づける。

◎北海道・本間昭一、北海道プロック交流会の特徴、2分散会がかつ



てなく、会員拡大、署名活動、学習活動の経験交流。北見支部は、署名目標を

3年連続達成。これは、未達成の原因を討議し、全会員に同盟活動の基本の署名を誇りをもって取り組んでもらう。会員の30%から60%の取り組みに。会員拡大は、イ

ベントに参加してくれた人の名簿をにぎって離さず訴えています。◎東京・中嶋育雄、年内に1300人会員拡大目指し、8〜10月を特別期間を取り組み9支部で31人の拡大。各支部が目標を持ち(合計140人)各支部で、映画会、講演会を企画しとりくんでいる。◎東京・吉田万三、今年も青年部の企画「治安維持法ってなんだ！」



稀代の悪法「治安維持法」を自国民の内発的な力で廃止できなかった日本。同法のみならず慰安婦や徴用工など、およそ悪法被害者への救済を拒む日本。その元凶は「自由」と「民主」の不在にある。

半面、不合理な差別への抵抗感は概して薄い。それに抗議することのほうが、差別自体よりも、日本社会での風当りは強い。治安維持法被害者は「非権力者」、慰安婦は「女性」、徴用工は「外国人」だから、「権利主張するな」とのたまう日本の「司法」。

「自由」と「民主」

佐々木

弾だん

宗教色の薄さゆえ、同時代の諸外国と比較し長らく自由・民主的だった

思想の自由を否定した治安維持法。それが帝国議会で作られたことは、そこに通底する反自由の文化が既存したことを意味する。現代なお日本には、空気を読め、忖度しろ、と多様性を否定する方向性が根強い。

(東京大学社会科学部研究所教授 法と制度の経済学)

第二弾、11月14日杉並区阿佐ヶ谷の「ロフト」で開催。表現の自由や言論統制を告発するものに。◎長野・竹村利幸、映画「伊藤千代子の生涯」製作の支援を。9月27日県実行委員会。県下で5カ所に実行委員会を予定。



◎国際部新体制、岩下美佐子部長、菅野亨一事務局長。副部長・田辺実、塩田一行。

国連人権委員会へのカウンターレポートを重視する。◎東京・風間秀子、全国女性交流会の成功を。◎岐阜・高井節子、「伊藤千代子を訪ねる旅」婦人部で歴史探訪の旅としてとりくみ参加46人。学習して、現地を訪れ、見聞する、実証の重さを感じています。◎副会長・針谷宏一、財政活動について、会費は、4月年度初めから請求書を出し、中央納入を。◎長野・遠山茂樹、地方議会の請願について。◎神奈川・山崎雅子、記録集『夜明けをめざして』は治安維持法犠牲者から直接聞きとった貴重なもので、学習と普及につとめる。

各地でブロック交流会

北海道ブロック

北海道ブロック交流会は9月29・30日、岩見沢市月形町に全道から38人が参加して行われました。29日はフィールドワークで、自由民権運動家などが投獄された月形監獄、道内で最も激しく闘われ、3・15弾圧で幹部が逮捕された月形小作争議など、道央の闘いの歴史を学びました。

田中幹夫中央事務局局長挨拶と宮田汎道本部長の基調報告を受け、分散会では参加者全員が発言、2日目は総括討論。2年余で230人の拡大した全道の熱気と自信が伝わってくる発言でした。太田友真さん29歳は、戦争体験を直に聞くことのできた最後の世代と自覚して皆さんの活動を継承していくとのべました。犠牲者・菱谷良一さん98歳は、天皇は「赤子」を慈しむといひながら、私のような「無実」の者を獄中で苦しめた、ユーモラスな語りで、戦争を推進し、今9条を変えようとしている権力を厳しく批判しました。

東北ブロック

9月29・30日、山形県鶴岡市の湯野浜温泉で、第29回東北ブロック交流会が開かれました。参加者は過去最高の123人でした。女性41人(33%)。初参加は24名(20%)でした。

初日、共産党副委員長の広井暢子さんが「時代をきりひらいてきた女性たち―民主主義と自由の未来へ、明日への確信と希望を語って」と題し記念講演を行いました。

共産党山形県委員長の挨拶、増本本部長の挨拶に続き、最上健造副会長が「討論の方向について」提案しました。2日目、川西町議の佐藤光康さんが「特別報告」を行いました。初日は、各県2人の「推薦」者が発言し、2日目は挙手で「自由討論」計20人が発言しました。92歳の犠牲者高橋祝さんが「戦争と平和の語り部として命ある限り活動したい」との発言、初参加の会員は「同盟はとも立派な団体だ。もっと他の人に知らせねば」と述べました。

四国ブロック

9月22日、4年振りに高知県で開かれました。悪天候及び他集会の影響で、参加人数を心配されたが、35人参加で熱気あふれる交流会となりました。

講演は、「小松益喜、ときさんを語る」。次男の小松伸哉。お二人の高知県内での活動の話は参加者の感動を呼びました。

翌日は会議後、高知市内史跡巡りを実施。最後は自由民権記念館まで足を伸ばしました。小松伸哉さんは、最後まで同行しました。

ここ数年、四国の運動は全国の前進に比べ遅れを取っています。50周年を挟んだ2年間、組織建設が後退と不名誉なブロックです。この現実を四国全体が先進に迫っていく運動に一步踏み出す意思統一を訴えました。

色々困難な状況はあります。今集会を契機に同盟員拡大、署名の目標達成に向けて頑張る決意を固めました。

九州・沖縄ブロック

10月22日と23日、ブロック交流会が開かれ、約50人が参加しまし

た。沖縄には昔から「いちやれば、ちようでー(お会いすれば、みな兄弟)」という言葉があります。沖縄県本部はその気持で九州のみなさんを迎えました。

1日目は「不屈館」で瀬長さんの次女、内村ちひろさんから沖縄の闘いを学び、活動交流会では増本会長のあいさつ(代読)のあと、田中事務局長の助言を受けて会員拡大、署名活動、支部づくりなど活動を交流。親睦会では沖縄の伝統芸能で歓迎。楽しい交流を終えました。2日目は辺野古大浦湾で「平和丸」に乗船、海保が追尾するなかで基地建設強行への抗議。辺野古のあとは米軍の本島上陸の最初の激戦地、嘉数高台で戦跡と

普天間飛行場を視察しました。

締めは恒例の「沖縄を返せ!」の大合唱、そして宵の懇親会では1人が入会しました。



「さらに行動する同盟」へ県本部大会・総会

組織拡大、署名活動でさらなる前進を

千葉県

第46回千葉県本部総会が9月27日に開かれ、22人が参加しました。

小松実会長は、「会員拡大では400人を超え目標を達成。さらに大きな組織をめざす」。中村日出丸事務局長が「来年の総会までに、会員500人の拡大をやり遂げたい。国賠署名は6000筆を目標に取り組み。柏、我孫子支部の結成をめざす」と報告。討論は、5人が発言。会長に小松実、事務局長に中村日出丸氏を再選。

体制を強化し、実践重視

山梨県

第32回山梨県本部総会は、7月28日に34人参加で開かれました。全員が発言。来賓5人挨拶、メッセージ9本紹介。「伊藤千代子の生涯」映画監督桂壮三郎氏の特別発言。新役員5人を含む22人の役員が選ばれ、94歳の石丸会長を支える副会長4人体制、事務局強化の事務局次長2人体制となりました。特別決議を採択。実践重視が

確認されました。会長 石丸あき

じ、事務局長 田中鉄夫を選出。全会員の力で署名目標突破を

富山県

第35回定期総会を9月12日に開催。昨年度、国賠署名は、目標に届かなかった。最大の要因は、署名活動への参加会員が10%台にとどまった。2019年度は、会員参加を飛躍させ、目標達成を確認。

また、4団体で検討している「富山県解放運動戦士の碑」を20年には建立を成しとげようと提起した。(県本部事務局長・吉田修)

次期総会まで2000人の会員拡大を

福井県

第32回福井県本部総会を8月20日、34人が参加して開きました。

西村明宏会長は、「総選挙に向けて、市民と野党の共闘の発展に貢献し、新しい政治を作るために力を尽くそう」と訴え。運動方針では、県同盟史上最高の136人到達に確信、全国大会までに200人の会員の実現などを確認。共闘組織「ピースふくい」の屋

敷絃美共同代表が講演。日本共産党の山田和雄県常任委員が激励のあいさつをしました。会長に西村明宏、事務局長に村井慶三両氏を選出しました。

新しい時代を切り開く自力を

岡山県

第32回岡山県本部大会を10月13日開きました。中国ブロック交流

会議の成果と以降の活動を持ち寄って40人が参加しました。「新しい時代を切り開く」自力つける決意を共有する大会でした。美作支部は、「市民と野党の共同の一翼を担って、久しぶりに2人の会員を拡大」と語り、坪井貞夫副会長が岡山支部の活動への決意を語りました。会長に小山博通さん、事務局長は福井正樹さんを選出。

50周年の前進を確信に支部活動強化を

広島県

広島県本部第28回大会を9月28日に開催しました。最初に被爆直後の悲惨な実相『忘れられた「ひろしま」』を上映、核廃絶へ闘いを確かめました。日本共産党県委員会が来賓あいさつ、増本本部会長、福井中国ブロック担当の

挨拶。「伊藤千代子の生涯」制作する会のメッセージを紹介。

創立50周年から42人の新会員を迎えた前進を確信に、県内8地域で日常的に支部機能が發揮できる組織建設をめざすことを確認。

新役員は、会長山田義昭、事務局長に吉岡芳樹を再選しました。

岡山県の活動にまなび、会員拡大を

山口県

山口県本部総会は10月6日開かれました。第一部は外山英昭山口大学名誉教授が「教育勅語の再評価とこれからの日本」と題してグループ別に着席した22人の参加者と対話方式で講演。第二部の総会は林洋武会長挨拶、太田事務局長は林洋武会長挨拶、太田事務局長情勢報告のあと討論。先に開かれた中国ブロック交流会に参加した会員からは岡山県の「楽しい会議」と自然体で入会を勧める活動に大いに刺激されまなび活動したい。

過去最高の会員数に達し、上げ潮で大会

長崎県

島原支部結成という中、第22回長崎県本部大会が10月5日、20人参加で開かれた。

抵抗の群像

船員の権利と生活を
守ってたかかったたなかまつしろう
田中松次郎

船員に夢抱いて

田中松次郎は1899年兵庫県姫路市生れ。高等小学校を中退し、木綿問屋や靴下製造卸商の丁稚になる。一年余で神戸に飛び出し船員になろうと思うが、若年のためかなわずホテルのボーイ、修理船のボーイ―掃除、紡績工場の油差しなどをやる。

しかし船員になる夢断ちがたく、大阪で川蒸気の甲板員見習、下関航路の火夫見習をしながら本を読んで勉強した。広島で初めて船員手帳を得て貨物船の火夫となる。川崎・三菱大争議などの影響で階級意識も芽生えた。

徴兵検査で帰郷した際、神戸の郵船会社に行き火夫に採用された。外国航路で働くうち貧富の差や民族差別を意識するようになる。

神戸に入港するたびに、河上肇の『社会主義研究』を本屋で見つけ、仕事の合間にむさぼり読んだ。

海員刷新会で要求を取り上げ運動

第一次大戦後、国際労働機構ILOが発足。1920年のILO海事総会に参加した日本の海員諸組織が統一して翌年に「日本海員組合」を結成。船主と連携し全海員を傘下においたが、海員の日常生活は取り上げなかった。

下級海員の仕事は危険が多く、船内生活の環境も悪かった。また生活が荒れ、給与を博打で掘り割りの利子をとる貸金を借りるなども常態化していた。そこで24年、田中は仲間を糾合して「高利貸・博打をなくし海員の生活向上、海員組合の改革」を呼びかける海員刷新会を神戸で立ち上げる。また田中は同年、神戸で最初の日本共産党細胞を結成した。

海員刷新会は当初、人道主義的な海員の民主主義運動であった。機関紙「水夫新聞」を発行して入港船にオルグし組織を広げ、3

00人を超えた。船内でも不合理な慣習と闘い支持者を広げたが、会社の圧迫も激しく脱退を強要され解雇される者も少なくなかった。天祐丸が食料金値上げを要求して停船ストに入ったとき、海員組合が応援を拒絶したことを刷新会が批判したので、刷新会と組合との対立は激化し、田中たち刷新会幹部は海員組合から除名された。

日本海員組合刷新同盟へ
田中は上海航路に乗り込んでいた時、共産党の幹部・佐野学に会い、その手引きでモスクワに行き、クートベ(ソ連極東民族大学)に留学した。

28年7月に帰国、仲間と海上労働運動の方針について意思統一し、横浜で海員刷新会再建に動いていたが、8月末に治安維持法違反で逮捕され、懲役7年の刑をうけた。海員刷新会は三・一五など幾多の治安維持法による弾圧も潜り抜け、神戸の連絡所と海上船員との連絡網は維持された。29年から機関紙「海上労働者」を発行し、海運不況・失業船員増大のなか「日本海員組合刷新同盟」と改称して海

員の要求実現の先頭に立つ。闘争本部長として海員ゼネスト太平洋戦争のなかで海員組合は海運報国団に包含され、幹部は船舶運営会に職を得た。海員は陸海軍兵士よりも高い率の戦没犠牲者を出した。戦争が終わるとすぐ復員・引揚げに従事する。

45年10月、海員組合再建にあたり旧幹部だけでは海員の信頼を得られないと考えた旧幹部は、田中松次郎らを幹部として迎え入れた。やがて復員船終了・船舶運営会解散を前に海員の身分保障を求め大ゼネストが行なわれる。田中は、その中央闘争委員長になる。

ゼネストは成功したのだが、組合の主導権争いとなり、田中ら、「中闘」派は本部派によって除名される。

田中はその後、日本共産党の兵庫県委員会活動。県委員長を務めた。また参院選で兵庫地方区候補として多数の得票をした。

1979年12月没。

(県本部常任幹事・戸崎曾太郎)
(角岡田賀男編「海上運動不屈の歩み」他参照)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

わが好きな五木ひろしの千曲川台風洪水の無惨生み
たり 静岡県 江川 佐一

ラグビーを終えてのインタビュ―被災者を励ます言
葉にわれも感動 岩手県 小杉 正夫

まだ屋根も直らぬままに又も来る台風に脅ゆ一人居
の老 岐阜県 和田 昌三

殺処分拒みし人の牧場にて被爆牛静かに草を食み居
り 埼玉県 白川 洋子

若者たちがキラキラしてる香港デモ挑発に乗るなど
ひそかに祈る 岐阜県 田中 良

民主主義は「強きを挫き弱さを援く」といみじくも
説きし加藤周一 島根県 大久保禮吉

高校生トウンベリさん首脳らに「温暖化許さぬ」臆
することなし 大分県 渡辺 幹生

スウェーデン16歳少女の一撃で目を覚ますデモ七〇
〇万人 島根県 小玉 信恵

掛けて引く掛けては引き編むセーターの目標二セン
チ幾度も確かむ 大阪府 丸尾ことよ

〈選のあとに〉台風大水害をうたう3首、それぞれ
の角度から。小杉作品。ラグビー選手からの強い励
ましを。渡辺作品と小玉作品の少女はグレタ。16歳
の少女が今気候活動家とも云われ、世界を動かして
いる。

俳句

望月 たけし選

秋晴を目にとどめ読む資本論

神奈川県 天野三葉子

長き夜や友と読み込む資本論

三重県 橋本しげる

基地なくす新政権へ天高し

埼玉県 小池 荘八

九条の看板さえる里の秋

兵庫県 岸本 守

徹の宿なびく政権にせメディア

岩手県 島山 文裕

〈評〉独習やグループ学習をすることは、活動にも俳
句作りにも大きな力になる。「行動しつつたくわえ
たくわえつつ行動する」は俳人古沢太穂のことは。

川柳

鈴木いさお選

最低が最長になる安倍政権

大阪府 佐々木雅博

〈評〉「美人薄命」美しい人の薄命は惜しまれ醜い
ものの長命は疎まれる。その典型。
マスメディア軽減税率一色に

鳥取県 大久保禮吉

側近で固め改憲トーン上げ

大阪府 大和 峯一

巡る夏傷痕軍人おりし街

埼玉県 福家 駿吉

3分2割れじゃ乗れぬ欠陥車

大阪府 堺谷九条男

(5ページからのつづき)

日本共産党員委員長の山下満昭

氏と雲仙市議の上田篤氏を来賓に
迎え田卓でのなごやかな雰囲気
の中、前半は上田精一氏の講演、

『肥後から肥前へ』の演題で、7枚
の手作り資料を使って、熱く語ら
れました。後半の議事では犠牲者
記録の増補版の出版、顕彰碑建立
に向けた準備、地方議会への請願
など討議。会長、久野正義、事務
局長、力武晴紀両氏を再選。

澤地久枝さんが講演

兵庫県本部女性の会は、10月19

日県民会館で「安倍9条改憲は戦
争への道・改憲発議許すな 女性
のつどい」を230人で開催。

「9条の会」の澤地久枝さんが
「いのちの力」と題し記念講演。

満州で終戦・引き上げにはじまる
自らの体験と戦前・戦後を生きた
日本人の痛切な歴史への取材をも

とに、「いのち」を軽んじる政治・
戦争への怒りを語りました。そし
て歴史と市井の人々を蹂躪する安
倍政治を倒すため投票率を高め野
党が連合する必要性を訴えました。

岐阜県

歴史探訪ツアー
伊藤千代子の故郷を訪ねる旅

10月1〜2日、伊藤千代子の故郷を訪ねるバス旅行を計画、39人が参加しました。昼食会場で東京方面3人、長野3人のみなさんと合流(45人)。「伊藤千代子こころざしの会」の協力により、旅は順調に進みました。ガイドは、諏訪出身で伊藤千代子の著者、藤田廣登さん。最初は伊藤千代子の墓所・顕彰碑へ、諏訪湖が一望できる高台にあります。ガイドから説明を受け、お花を供え記念撮影しました。

バスの車窓から千代子の家跡を紹介されましたが、できれば下車

しゅっくり見聞できると良いのですが、時間がなく残念でした。山一林組日本社・旧守護所、諏訪大社下社・秋宮を見学、宿舎・ラコ華乃井に到着。夕食交流会は岐阜県同盟片桐会長の挨拶、伊藤千代子こころざしの会藤森会長挨拶、出し物や歌を歌いゆつくりとした時が流れました。

2日目は片倉館、原田泰治美術館、満蒙開拓記念館を見学し、帰路のバス内では、2日間の様々な感動や体験などを交流しながら一路岐阜へと向かいました。

(岐阜県本部・高井節子)

2019年度会費納入を

年末の財政強化を心から訴えます。会員と読者のみなさん、いつものご協力にお礼申し上げます。「さらに行動する」同盟を支えるため、年末の財政活動強化にご協力ください。

1、2万人の同盟へ！会員拡大と会費を納入してください。

2、「年末募金」(1口1000円)

3、新年名刺広告にご協力を。

4、「治安維持法と現代」の歩み(年表)、DVD「種まく人びと」など、同盟の出版物の購読と普及にご協力を願います。

事務局日誌

- 10月1日 高橋健太郎写真展
- 10月2日 全労連会館防災訓練
- 10月3日 会長事務局会議
- 10月4日 臨時国会開会集会
- 同 「不屈」編集会議
- 10月9日 三役会議
- 同 「西田信春―甦る死」出版打ち合わせ
- 同 国際部会
- 10月10日 常任理事会
- 10月14〜19日 中国平和連帯の旅
- 10月15日 会長・事務局が新参院議員へ国会請願
- 10月21〜22日 東海ブロック交流会
- 10月22〜23日 九州沖縄ブロック交流会
- 10月23日 日本母親大会実行委員会
- 10月24日 日本母親大会実行要請

訃報

宮田勝さんが死去

宮田勝さん(中央本部顧問・元都本部会長・前八王子支部長)は10月6日死去されました。享年93歳。謹んでご冥福をお祈りいたします

2019年秋季号

『治安維持法と現代』

好評発売中



治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

【主な内容】「三・一朝鮮独立運動100周年・隠された朝鮮侵略の歴史」=中塚明、「参議院選挙後の憲法をめぐる情勢」=金子勝、「今日の日米同盟」についての考察=小泉親司、「民主主義と自由の未来へ、共に歩もう」広井鴨子、「治維法と近藤忠義さん」=塩谷郁夫、「ドイツ国家に抵抗した軍人の名誉回復にふれて」=児玉健次。「治維法下の津田楓風と画『犠牲者』」=小木宏、「犠牲者を追って 北海道・『生活凶画事件』調査ノート」=川島瞳均、「禁演落語と国策落語」=柏木新《文学エッセイ》「高みの見物」と反戦の記念「加藤周一誕生100周年に寄せて」=北村隆志、「『生きてゐる兵隊』を読む娘さん」古澤夕起子《抵抗の群像》「最高齢犠牲者・小林末夫さんに聞く」、「俳句弾圧と秋田県の『蠍(さそり)座』事件」、樺太『戦旗』読者協議会事件ほか。

A5判 定価1000円 申し込みは、中央本部 各都道府県本部へ
発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟